

1学期の子ども読書推進活動

新型コロナウイルスの影響で十日町情報館と各分館は、5月6日まで貸出も含めて全面休館をしました。子どもたちは家で過ごす時間が増えていたので、本の貸出ができれば良かったのですが、感染防止のためには仕方ありませんでした。各学校も再度休校になり、様々な対応に苦慮されたことでしょう。本当にお疲れ様でした。

5月7日より、学校が再開され、十日町情報館も貸出・返却のみですが、開館されることになりました。まだしばらくは、不要不急の外出を控える日々が続きますので、十日町情報館や分館で本を借りて読書を楽しんでください。早く落ち着いて通常の活動ができるようになることを祈るばかりです。

さて、前号で本年度の子ども読書推進の計画をお知らせしました。早速、「楽しい読書出前授業」に申し込みをしてくださった学校もありました。5月に小学校から、10月に中学校からです。しかし、新型コロナウイルスの感染予防のため、5月に希望の学校は、2学期に延期することになりました。しばらくは、「3密」を避けるようにしなければならないので、当然のことかと思えます。各学校でも、行事を2学期以降に延期したり、中止にしなければならないかと苦勞されていることと思えますので、新型コロナウイルスが落ち着いてからお願いします。

また、「読み聞かせボランティア」についても、希望のあった学校には、各ボランティアの方々をお願いしたのですが、やはり1学期は活動を休止することになりました。子どもたちの健康を気遣ったことです。落ち着いて読み聞かせを聞ける状況になりましたら実施できるようにしていきます。

様々な活動が制約されて、自宅で過ごすように言われている今、家での時間を有意義に過ごすために読書は有効ですので学校の図書室も大いに活用してほしいと願います。いつもより多めに貸し出しをするのもいいですね。また、子どもたち同士で本の紹介をし合うのもいいです。ぜひ、工夫して子どもたちの読書が充実するようにお願いします。

団体貸出

ある中学校から「休校前に本を借りたい」という電話があり、団体貸出しをしました。

「読み物中心。元気がでるようなもの。生き方を学ぶもの。新書やエッセイ、軽いものも。」という希望があり、私が選書させてもらいました。生徒に1冊ずつあたるくらいの冊数を選びました。休校前の4月24日(金)に貸し出しをしたそうです。長い休みで、どこかに出かけることもできなかったので、きっとどの子も読んでくれたのではないかと思います。どの子がどの本をよんだのかな？どんな感想をもったのかな？と興味をもっています。

学校への団体貸出しは、いつでも受けています。教科の学習に活かすため、日ごろの読書の幅を広げるため…どうぞ、活用してください。職員も選書のお手伝いをします。